



日音だより

令和4年度 1月号
日本音楽学校幼稚園
園長 関 幸治

【明けましておめでとうございます】

令和5年（2023年）になりました。皆様おそろいで新年をお迎えることと思います。今年は卯年「癸卯（みずのとう）」です。癸は「春の間近でつぼみが花開く直前」であることを表し、卯は字の形が門を開いている様子を想像させることから「冬の門が開き飛び出る」ということを表します。このことから「これまでの努力が花開き実り始める」という意味があるということです。なんとなく明るい兆しを感じられる一年となりそうです。

先月には遊戯会を行いました。子どもたちは、合奏と遊戯の練習を毎日繰り返し行っていました。鍵盤ハーモニカにホースを付けずに縦に持って演奏する姿を見て本当にすごいなと感じました。私がかつて1年生の担任をした際には、鍵盤ハーモニカはホースを付けて演奏させました。鍵盤がよく見えて指の動きがわかるからです。でも、園の子どもたちは違いました。より高度な演奏をしていたのです。子どもたちのレベルの高さに驚きました。年少・年中・年長ともに、一生懸命練習した成果をお見せできたのではないかと思います。遊戯もそれぞれ工夫していました。使用する大ホールの大舞台での練習がなかなかできず、狭い遊戯室での練習がほとんどでした。しかし、当日の子どもたちは、広い舞台をいっぱい使って伸び伸び演技ができました。

あと3か月で、年長の子どもたちは小学1年生、年中、年少もそれぞれ進級します。癸卯の意味にあるように、これまでの努力、これからの努力を大切に、花を開かせたいと思います。3学期も教職員一同力を合わせて教育活動を行います。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



ご協力ありがとうございました

遊戯会のYouTubeでのライブ配信はいかがだったでしょうか。初めての試みだったので、うまくいったかどうか心配でした。遊戯会后、何人かの保護者の方から、祖父母も楽しめましたという声を聞くことができました。また、もう一度見たいという希望もあったので、視聴者限



定、期間限定で当日の様子をYouTubeで流しました。改めて、こういったことができる時代になったのだなと思うことしきりです。

こういったことができるのならば、保護者会や個人面談、家庭教育学級などもオンラインでつなぎ、仕事等で幼稚園にいらっしやれなくても参加できるようになるのではと考えています。皆様のご協力を得ながら、有効な活用を目指していきたいと思っています。

1月 指導のねらい

すみれ組

○正月の伝承遊びに興味をもち、遊ぶことを楽しむ。

ばら組

○友達に思いを伝え合いながら一緒に遊ぶことを楽しむ。

まつ組

○冬の自然に興味や関心をもち、試したり発見を楽しんだりする。



○講師の先生による指導（1月）

器楽指導 渡辺 正明先生 まつ組

英語指導 安本えつ子先生 ばら組 まつ組

外国人講師 ばら組 まつ組

体育指導 櫻井 由香先生 ばら組

松本 幸浩先生 まつ組

○お知らせ

- ・預かり保育の担当ですが、現在、傳川洋子主任を中心として全員で取り組んでいます。また、12月中旬より、金村めぐみ教諭が週1回入っています。
- ・来年度の新入園児を対象とした体験入園を18日（水）に行います。（すみれ組の子どもたちもお兄さんお姉さんになる準備ができるかな・・・）
- ・『ルクミー』の運用が始まっています。今まで紙ベースで連絡をしていたことが、スマホやパソコンでできるようになりました。ご登録がまだの方は、ぜひ登録をお願いします。全員の登録が済んだ段階で印刷物の配布を行わないようにしたいと考えています。

日音の二十四節気……睦月(むつき)……

睦月は睦び月(むすびつき)が転じたものといわれます。仲良くすること、仲睦まじいこと、互いに親しみ合うことのために、お正月に家族や親族が集まる「睦び合い」の宴を行うことに由来します。一年を仲良く楽しく過ごしたいものです。

小寒(6日)……寒の入りでこれからさらに寒さが厳しくなる時期

大寒(20日)……一年で最も寒さの厳しい時期

小寒から2月の節分までを寒の内といいます。この期間に行うのが寒げいこです。体育館の床の冷たさを今でも覚えています。